

<目的>

身頃パターンにおいて個体差が著しく表れる肩部及び頸部の体型特徴を把握し、体型別のパターン分類を試みた。

<方法>

被験者、成人女子141名について、以下の手法よりデータを採取した。

1. 身体各部の計測データ
2. シルエット写真よりの計測データ
3. 1. の計測項目より作成し、試着・補正された原型から採取したデータ
4. 右肩部から衿ぐりにかけて石膏型取りを行い、石膏抜き型よりの計測データと内部にサージカルテープを貼付し、平面展開図を作成し、展開図より採取したデータ

以上のデータから各項目ごとに主成分分析を行いその傾向をとらえ、更に形状特性と身頃パターンとの関係を見るために各手法より選定した項目を総合的に主成分分析を行った。

<結果>

総合的に主成分分析を行った結果、肩下がり角度と頸付根形状及び身頃パターンとの関係、肩の方向性と頸付根形状及び身頃パターンとの関係の成分が抽出された。この結果より肩形状による体型分類が可能になり、肩部・頸部の個体差を考慮したパターン作成のための必要最低限の計測項目を選定した。更に、体型分類した特徴的パターンの頸付根前後幅・厚径のバランスについて考察を加えた。